

(書式 1-1-4)

特定の財産を第三者に遺贈する遺言書 (特定遺贈)

遺言書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第1条 遺言者は、その所有する次の不動産を、遺言者の長男亡〇〇〇〇の妻〇〇〇〇 (昭和〇〇年〇〇月〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号) に遺贈する。

1 土地

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目

地番 〇〇番地

地目 宅地

地積 〇〇〇・〇〇平方メートル

2 建物

所在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

家屋番号 〇〇番

種類 住宅

構造 木造瓦葺二階建

床面積 一階 〇〇・〇〇平方メートル

二階 〇〇・〇〇平方メートル

第2条 遺言者は、この遺言の執行者として、前記〇〇〇〇を指定する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者 〇 〇 〇 〇 印

## 解説

特定財産の遺贈では、遺言者の死亡により当然に受遺者に権利が移転するが、第三者との関係では対抗要件の具備が必要である。不動産の場合は、遺贈義務者である相続人を登記義務者とし、受遺者を登記権利者として、遺贈を原因とする所有権移転登記を共同申請しなければならない。相続人の協力が得られないと、登記申請が困難となる場合もある。そこで、遺言執行者の指定があれば、遺言執行者が登記義務者に代って登記申請をすることになる。



\* 遺言書の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/> をご覧下さい。

弁護士法人朝日中央綜合法律事務所